

## 五 2 「目的や意図に応じて新聞を書く」

五 田中さんは、体育係として学級のおよそ半数の体力を向上させたいと考えています。そ

こで、「体力の向上」について書かれた子ども新聞の記事(資料1)をさがして読みました。その後、子ども新聞の記事や学級のおよそ半数に行ったアンケート結果(資料2)をもとに、学級新聞(資料3)を書くことにしました。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

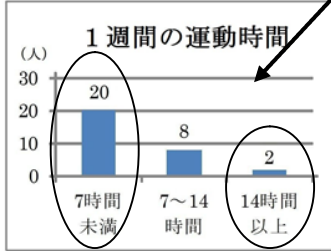
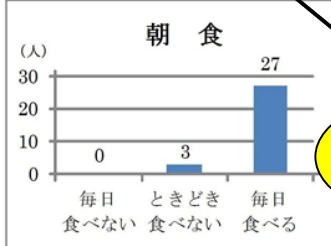
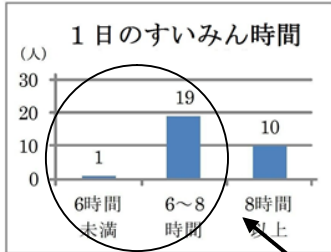
【資料1】「体力の向上」について書かれた子ども新聞の記事

先日、小学校五年生に対して全国で行われた、体力調査の結果とそこから考えられることなどをまとめた報告書が発表されました。その中には、生活習慣や運動習慣と体力の関係についてまとめた内容もありました。

生活習慣と体力の関係についてみると、一日のすいみん時間が八時間以上の子どもは、朝食を毎日食べている子どもは、体力テストの合計点が高いことが明らかになりました。

運動習慣と体力の関係についても、明らかになったことがあります。一週間に運動をする時間の合計が七時間未満の子どもは、体力テストの合計点かなり低いことです。一方、運動をする時間の合計が十四時間以上の子どもは、体力テストの合計点かなり高くなっています。これらのことから、報告書には、生活習慣や運動習慣を身に付けることなどが書かれています。

【資料2】田中さんの学級の生活習慣や運動に関するアンケート結果



関連付けて考える！

理由を挙げた記述

- 田中さんの学級が、体力向上のために取り組まなければならないことを「1日のすいみん時間」「朝食」「1週間の運動時間」の中から一つ選んで書くこと。
- 選んだ理由を書くこと。
- 選んだことについて、体力を向上させるために取り組むことを具体的に書くこと。
- 三段落で書くこと。

考えを明確にした構成

事例を挙げた記述

【資料3】田中さんが書いている学級新聞

五年二組 学級新聞 <b>「体力の向上」について</b> (第二号)	★今回の特集★ <b>五年二組の体力の向上について</b>	★発行日 平成二十五年 六月六日
五月の第三週目に体力テストが行われました。五年二組の体力テストの結果は、全国の小学生とくらべて、あまりよくないことが分かりました。	★生活習慣や運動習慣と体力の関係について分かったこと(子ども新聞より) ①	★アンケート結果から分かったこと ○一日のすいみん時間 ○朝食 ○一週間の運動時間
②朝食を毎日食べている子どもは、体力テストの合計点が高い。	③一週間に運動をする時間の合計が七時間未満の子どもは、体力テストの合計点かなり低い。	④一週間に運動をする時間の合計が十四時間以上の子どもは、体力テストの合計点かなり高い。
体力を向上させるために！		
7		

2 田中さんは、「この新聞」の「マ」の中に、体力を向上させるために取り組むことを書いてみんなに提案することになりました。次の【注意】にしたがって、□の中に書きましょう。

【注意】

### 【正答例】

わたしは、一週間の運動時間をふやすことに取り組むことを提案します。

理由は、一週間の運動時間が七時間未満の子どもは、体力テストの合計点がかなり低いという結果が出ているのに、五年二組は七時間未満の人が二十人もいるからです。

運動時間をふやすために、毎日休けい時間には、みんなでドッジボールなどの体を動かす遊びをしましょう。また、休みの日には、外でしっかり体を動かす遊びをしましょう。

## 問題の趣旨と学習指導要領における領域・内容

### 理由を挙げた記述 (通過率 27.1%)

目的や意図に応じて、理由を挙げて書くことができるかどうかをみる。

[第3学年及び第4学年]

B 書くこと

ウ 書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。

### 事例を挙げた記述 (通過率 23.9%)

目的や意図に応じて、事例を挙げて書くことができるかどうかをみる。

### 考えを明確にした構成 (通過率 43.6%)

自分の考えが明確になるように、段落相互の関係に注意して文章を構成することができるかどうかをみる。

[第3学年及び第4学年]

B 書くこと

イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。

## 主な解答例(主な誤答の特徴)

- 理由を書く際の表現の仕方(「なぜか」と「その理由は」「～だからです。」)が理解されていない。
- 資料1と資料2を結び付けて読み、それを理由として書くことができていない。
- 「田中さんの学級が取り組まなければならないこと」を書くという問題の意味を正しく捉えることができず、自分のこととして書いている。

- 選んだことに応じた取組内容は書くことができていないが、具体的に書くことができていない。
- 取組内容は書くことができていても、選んだことに応じていない。
- 選んだことに応じた取組内容が浮かばず、書くことができていない。
- どのようなことが具体例なのかを理解していない。

- 段落構成ができていない児童が、15.6%おり、文章を書く際に、内容のまとまりごとに文章を分けて書く(第1・2学年の指導事項)ということが理解されていない。
- 三段落で書くことができていても、提案するために、何を書くといいのかが、問題文の中から読み取ることができていない。
- 提案するため必要な「選んだこと」「選んだ理由」「取り組むこと」の三つの内容をそれぞれ分けて、一つの段落として構成することができていない。

## これまでの「基礎・基本」定着状況調査から明らかになったこと

- 一つの資料から必要な情報を読み取って、例文を参考にしながら、条件に従って自分の考えを記述することができる。

H23「基礎・基本」定着状況調査 五 書くことの収集や選択 (内容1) 94.4%, (内容2) 88.0%  
 考えの明確化 (構成) 81.3%

【注意】

- 「給食でよく残した食品」の中から「分かった」と「給食委員として伝えたい」をそれぞれ選んで書いてください。
- 「給食でよく残した食品」の中から「分かった」と「給食委員として伝えたい」をそれぞれ選んで書いてください。

給食委員で調べました!

### 給食新聞

給食でよく残した食品

食品	人数(人)
野菜	18
魚	12
牛乳	10
肉	8
ごはん・パン	2

給食の時間にできていないこと

こと	人数(人)
よくかんで食べる	35
残さず食べる	25
時間内に食べる	15
手あらい	5

五 給食委員は、五年一組の四十人に、次の二つのことを書き、その結果から分かることを伝えたいことを給食新聞にまとめることにしました。

- 給食の時間にできていないこと
- 給食でよく残した食品

イ

の

の中に入れてる文章を、

ア

の書き方のように、次の【注意】に

※一つの資料から必要な情報を読み取って、注意にしながら、例文を参考に自分の考えを記述する。

例文

ア

給食委員から

上のグラフから、よくかんで食べるのができていない人が多いことが分かりました。反対に、手あらいができていない人は少ないことが分かりました。

よくかんで食べると、しよらかしやすくなります。みなさん、よくかんで食べるよう心がけましょう。

伝えたいこと

分かること

## 課題

- 資料1の説明文から必要な情報を読み取ること。(文章を読み取る基礎的な力)
- 資料2のグラフから情報を読み取ること。(グラフを読み取る基礎的な力)

↓

- 資料1と2から読み取ったことを関連付けて考え、一つを選択すること。(思考力, 判断力)

↓

これまでと大きく違う点

例文なしで!

- 選んだことに応じた取組内容を具体的に考えて、三段落で自分の考えを書くこと。(論理的な表現力)

## 指導のポイント

複数の資料を関係付けて読む力を付けるために

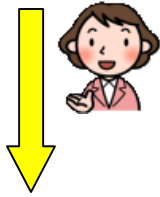
### ステップ1

読む目的を明確にしましょう。

教材として複数の文章や資料を取り上げ、具体的な言語活動を設定して指導することが大切です。

## ステップ2

複数の資料に含まれている情報の共通点や相違点を整理しながら比べて読ませましょう。



- ・題やキャプションから何についての資料か読み取らせましょう。
- ・グラフの内容を読み取るときは、全体の傾向、大きく変化している点、他と異なる点に着目！
- ・円グラフでは、割合に着目！
- ・棒グラフでは、差に着目！

## ステップ3

情報を取り出したら、その情報を基に自分の考えを書かせる指導につなげましょう。

### 理由や事例を挙げて書く力を付けるために

- 目的や必要に応じて、その中心の内容や段落に対して、原因や理由を挙げたり、分かりやすく説明するために事例を挙げたりして書かせるようにしましょう。
- 理由については、理由が一つだけでなく、複数ある場合もあります。説得力を増すために、複数の理由を考えさせたり、理由の質を高めさせたりすることが大切です。
- 事例については、自分の体験だけでなく、具体的な本や文章、絵や写真などを取り上げること等も指導しましょう。



- ・図や表などに用いた具体的な数値と自分の感想や意見とを区別するように指導しましょう。

- 理由や事例を挙げて書く際の表現について指導しましょう。



- ・理由→「なぜかという」「その理由は」「～だからです。」等
- ・事例→「例えば～」「事例を挙げると～」「～などが当たる」等

### 段落相互の関係に注意して文章を構成する力を付けるために

- 事柄ごとのまとまりを意識させ、段落相互の関係に注意させる指導を行きましょう。
- 相手意識・目的意識をもたせ、どのような段落構成にすれば自分の考えが相手によく伝わるのか考えさせましょう。また、文章構成を具体的に取り上げて指導しましょう。



例えば、意見文の文章構成には…

#### 意見文の構成①

問題の提示  
自分の主張・意見  
理由 (なぜなら…)  
事例 (たとえば…)

#### 意見文の構成②

問題の提示  
事例  
理由  
自分の主張・意見